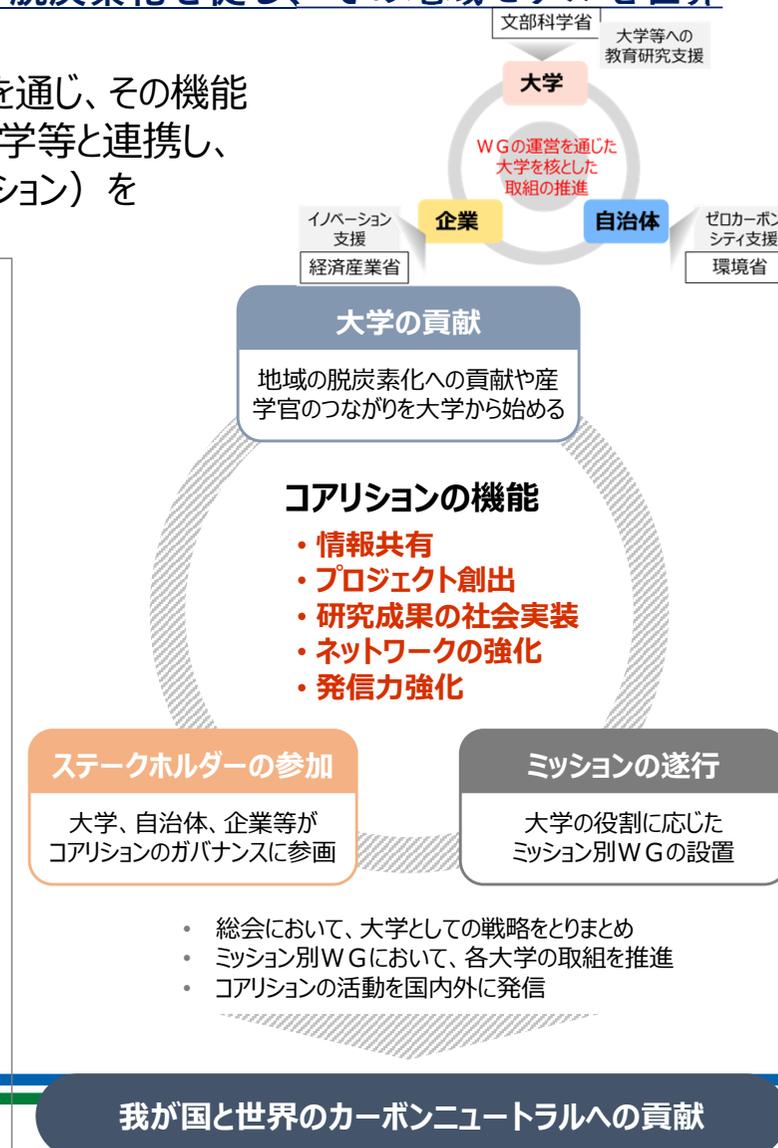
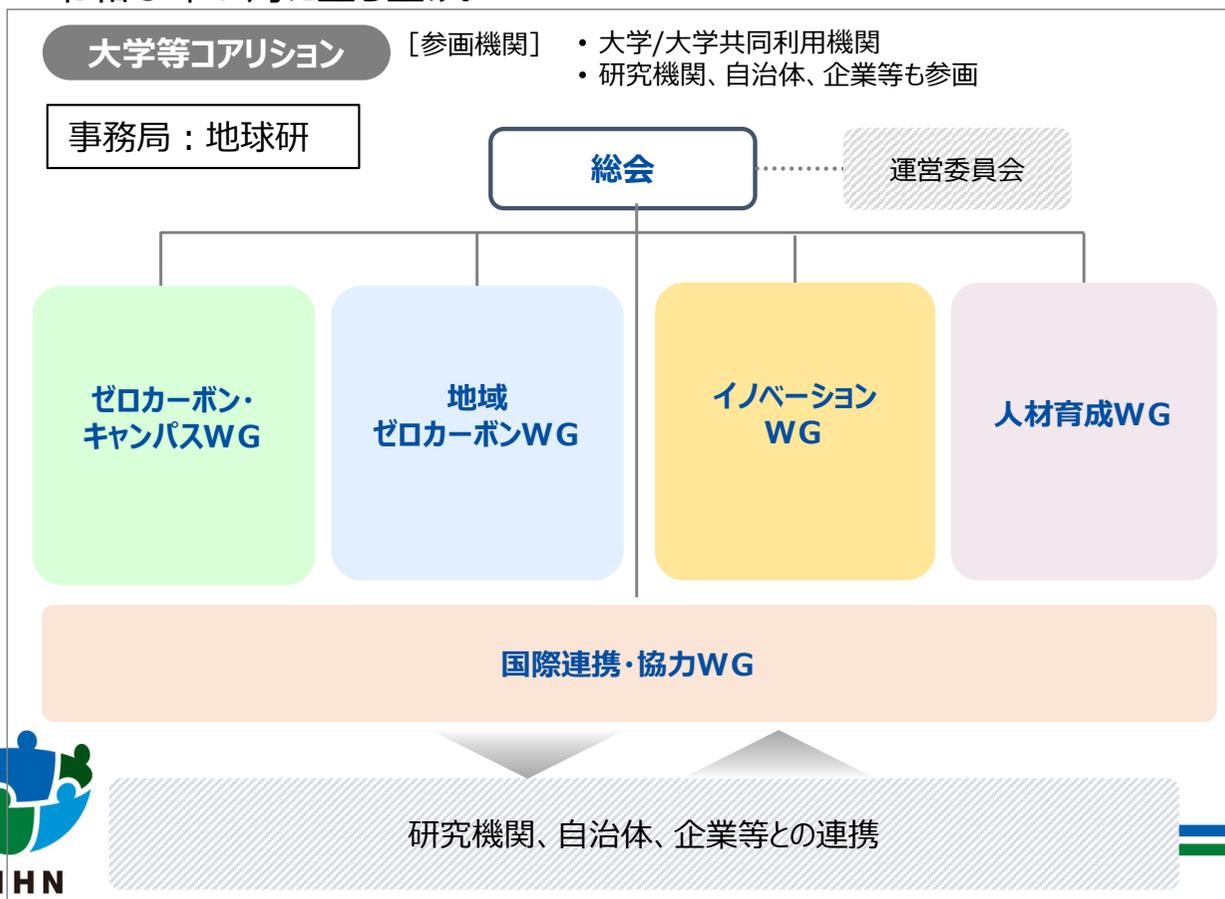


# カーボン・ニュートラル達成に貢献する大学等コアリション

○ 2050年カーボン・ニュートラル実現には、技術イノベーションのみならず経済社会イノベーションが不可欠であり、そのためには、人文社会科学から自然科学までの幅広い知見が必要。教育研究・社会貢献活動を通じて、**国・地域の政策やイノベーションの基盤となる科学的知見を創出し、その知を普及する使命を持つ大学の役割に大きな期待**。また、各地域の“知の拠点”として、**地域の脱炭素化を促し、その地域モデルを世界に展開**する役割も重要。

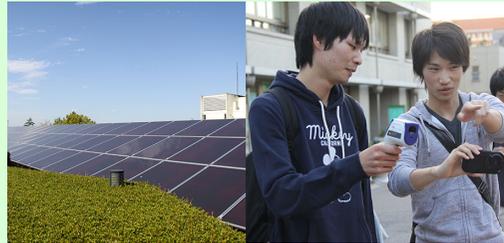
○ これを踏まえ、大学が、国、自治体、企業、国内外の大学等との連携強化を通じ、その機能や発信力を高める場として、文科省、経済産業省、環境省が、賛同する大学等と連携し、**「カーボン・ニュートラル達成に貢献する大学等コアリション」**（大学等コアリション）を令和3年7月に立ち上げ。



# 5つのWGの活動と方向性

## ゼロカーボン・キャンパスWG

- ・大学キャンパスのゼロカーボン化の取り組み事例（設備更新、遊休地活用、学生の参画等）を大学間で共有
- ・全参加大学による方針とロードマップ等の策定（～2025）



「自然エネルギー100%大学」という目標を掲げて環境活動を続ける千葉商科大学

## 地域ゼロカーボンWG

- ・地域のゼロカーボン化に向けた地域との連携事例（自治体の計画策定、実証実験等）を大学間で共有
- ・技術課題・制度的課題等の抽出、解決策の検討（～2025）



地域ゼロWGシンポジウム

## イノベーションWG

- ・各大学における産学連携の事例を共有
- ・カーボンニュートラルの実現に向けて、理工系だけでなく人社系を含めた研究者が自治体、企業などの社会の担い手と対話できる場を検討（～2025）



京都大学のオープンイノベーション機構の事例発表

## 人材育成WG

- ・カーボンニュートラル教育の事例を大学間で共有
- ・カーボンニュートラル人材の在り方、必要な知識等を分析
- ・共同教育プログラムや教材の開発を検討（～2025）



東海大学「パブリック・アチーブメント（PA）型教育”

パブリック・アチーブメント型教育：立場が異なる市民が社会で共存するためのルールをつくる活動を実践・学習するプログラム

## 国際連携・協力WG

- ・米国、カナダ、メキシコの大学コアリション（UC3）との共同ワークショップを開催し、取り組み事例を日米間で共有
- ・今後欧州やアジア、アフリカの大学との連携を検討（～2025）

